



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

90.7.23 No. 3257

インタビュー

押垂千葉転支部長に

国鉄清算事業団

ストへの不当処分

仲間の悔いもフラスコに闘う!

土岐

榎千葉運転区長は 組合潰し、人権侵害をやめろ

絶対許せない

トングデモない 不当処分だ

やる気もやる自信が 俺にもやれる

千葉転、
押垂支部長
が不当にも
出勤停止に
なった七月
二十日に編
集部が押垂
さんに心境
、決意をうか
がいました。

編集集部部 今回の
処分についてみんな怒っ
ているとおもいますが!

押垂 今回、
千葉支社は不当にも千葉
転だけで四十八名に処分
を出してきた。

これは約二人に一人の
割合であり特に次期世代
を担う青年部の若手層を
中心にえらんで処分して
いる。土岐区長は自分の
気に入らない者をこの際
いじめてやれとばかりに
処分を出したとしかいい
ようがない。

編集集部部 押垂支
部長に対し「出勤停止一
日」という重処分を出し
ましたが理由は何ですか
?

押垂 当局は
処分について全く自信が
無いから長ながと処分理
由を書きなぐり、しかも
俺については三点にわた
っている。そのなかには
当局の不手際、責任問題
も含まれておりそれを組
合に押し付けているもの
さえある。絶対許せない
。四十八名の処分理由を
見るとほとんど三・一八
スト以外の十二・五、一

・一八ストの時「暴言を
吐いた」とか「社員とし
て不都合な行為」という
理由になっている。これ
は三・一八ストは全く正
当なストであり正面から
処分できなかったことを
証明している。処分のた
めの処分であり、理由は
あとから適当にくっつけ
たとしかいいようがない
。トングデモない不当処分
だと思う。

土岐区長に 皆怒っている

編集集部部 土岐区
長による支部破壊との攻
防が続いていますか、状
況はどうですか。

押垂 はっき
り言って皆頭にきている
。おとなしい中年の組合
員も土岐区長に代わって

から燃えてきている。

繁沢さんが強制配転さ
れ次から次に攻撃してく
る中で支部の体制をつく
るためにも四苦八苦しま
したが全組合員の協力で
よって体制もつくられ、
いよいよエンジン全開で
す。

押垂 自分は
千葉転の中では若い方だ
しオルグするにしてもな
かなか苦勞しているけど
先輩も協力してくれるし
物販や動員など目標を達

成することが出来てます
。やる気で頑張れば俺に
もやれるという自信が少
しわいてきたと思う。今
ビビッているのは当局だ
といえる。例えば本部か
ら電話がかかってくると
区長は気になって近くに
寄ってきてきき耳をたて
ているなど表面上は強が
りを装っているが内心は
ビクビクしているのが良
くわかるわけです。

「事業団」の仲間の 怒りの分も俺達が

編集集部部 千葉転
から五名の仲間が「事業
団」に送られ四月一日に
強行解雇されましたが断
じて許せるものではない
とおもいますが

押垂 五名の
仲間は今、外で働きのな
ら頑張っている。特に中
村仁さんは青年部であり
仲間なのでいつも気にし

ている。本当ならこの職
場で一緒に闘っていると
ころだけど——必ず
彼らをとれどす、長い
闘いになるとおもうが腹
をすえてやってゆきたい
。本人たちもなれない所
で奮闘していると思うけ
どぜひ頑張ってください。

そうした意味からも今
回の清算事業団闘争に対
する不当処分は許せない